学校番号	403

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 B	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史 B」　（実教出版）						
副教材等	「図説　日本史通覧」　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

◎原始社会や古代国家の成立から変質、そしてそれぞれの時代の社会や文化の特色について、東アジア世界の動向や東アジア世界からもたらされた文物・諸制度が、我が国の国家や文化の形成に大きな影響を及ぼしたことに留意し、地理的条件とかかわらせながら多面的・多角的に考察させて、この時代の特色を大きくとらえる。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。	歴史の事象や歴史の構造に問題を見いだし、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考したりできる。また、それを表現することができる。	日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 〔主題学習〕	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕	定期考査 〔主題学習〕

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期</td><td>日本文化のあけぼの</td><td>・日本最古の文化
・縄文時代の社会と文化</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a：日本の原始社会に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。
b：地域に残る遺跡から原始社会について考察するとともに、その成立過程や特徴を適切に表現している。
c：地域に残る遺跡や博物館などを訪ねるなどして原始社会の文化の特色に関する諸資料を収集し、原始社会の様子を調べるための情報を適切に選択している。
d：原始社会がまだ貧しいがゆえに平等な社会構造であったことを理解し、その知識を身に付けている。農耕の開始によって権力者があらわれ、クニができあがってくることを理解し、その知識を身に付けている。</td><td>定期考査
ワークシート</td></tr>
<tr><td>水稲農業の開始と社会生活の進展</td><td>・弥生時代の社会と文化
・小国の分立と邪馬台国
・ヤマト政権の成立・発展と東アジア
・古墳の成立と発展
・大陸文化の摂取</td><td>○</td><td>○
○</td><td>○</td><td>○</td><td>定期考査
ワークシート</td></tr>
<tr><td>2学期</td><td>東アジア文化の影響と律令制度の成立</td><td>・推古朝の政治と飛鳥文化
・律令国家成立期の政治と文化
・律令体制とその実態
・天平文化</td><td>○
○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>a：古代国家としての奈良や京都、奈良時代や平安時代の文化に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。
b：古代国家が東アジアの動向と関連して成立したことを考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。
c：古代国家の確立に関する史料を読み、そこから歴史的事実や社会の様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。
d：古代国家が天皇を中心に成り立っていることを理解し、その知識を身に付けている。古代国家と東アジアの関係を理解し、その知識を身に付けてい</td><td>定期考査
ワークシート</td></tr>
</table>

	摂関政治と国風文化	・平安初期の政治と文化 ・摂関政治と地方の動向 ・国風文化	 ○		○	○	る。奈良時代は律令制の時代であったことを理解し、その知識を身に付けている。平安時代は律令制が変質し、荘園を中心とした社会になってきたことを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
3学期	中世社会の成立と文化の新機運	・荘園公領制の形成と武士団 ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・武家政治の展開 ・鎌倉武士と農村生活 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	○ ○	 ○ ○	 ○	 ○ ○	a：武士の出現や武士の生活や鎌倉時代の出来事に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b：武士の出現や武家政権の成立について、その文化や特色と関連付けながら考察し、適切に表現している。 c：中世社会の成立に関する諸資料を収集し、そこから歴史的事実や社会の様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。鎌倉時代の寺社や仏像をみてその社会や文化の特徴を読み取ることができる。 d：武士が土地の所領関係でむすびついていることを理解し、その知識を身に付けている。荘園などを武士が実力で奪いとり、力を獲得していく過程を理解し、その知識を身に付けている。東アジアの動向が日本の歴史に大きな関わりをもっていることを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。